

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年3月21日(2008.3.21)

【公開番号】特開2002-212454(P2002-212454A)

【公開日】平成14年7月31日(2002.7.31)

【出願番号】特願2001-31916(P2001-31916)

【国際特許分類】

C 0 9 B	23/00	(2006.01)
C 0 9 B	45/20	(2006.01)
C 0 9 B	69/02	(2006.01)
G 1 1 B	7/244	(2006.01)
G 1 1 B	7/24	(2006.01)
B 4 1 M	5/26	(2006.01)

【F I】

C 0 9 B	23/00	L
C 0 9 B	45/20	
C 0 9 B	69/02	
G 1 1 B	7/24	5 1 6
G 1 1 B	7/24	5 2 2 A
B 4 1 M	5/26	Y

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月4日(2008.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

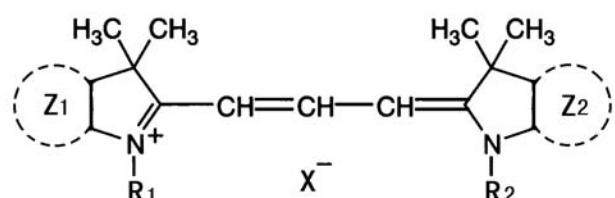
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ジアセトンアルコールにおける20%の溶解度が50mg/ml以上、かつ、分解点が272℃を上回る、一般式1で表されるトリメチン系シアニン色素。

【化1】

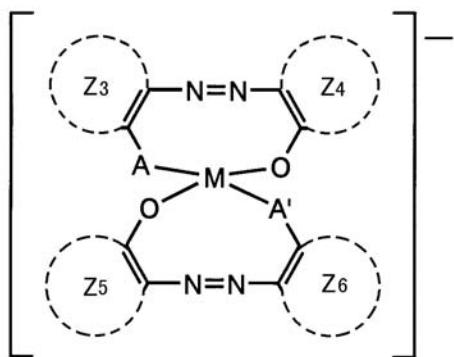
一般式1:



一般式1において、R₁及びR₂は、それぞれ、脂肪族炭化水素基を表し、それらの脂肪族炭化水素基は置換基を有していてもよい。Z₁及びZ₂は、それぞれ、ベンゾインドレン環を完成するための縮合ナフタレン環を表し、それらの縮合ナフタレン環は置換基を有していてもよい。X⁻は一般式6で表される対イオンを表す。

【化2】

一般式6:



一般式6において、Z₃乃至Z₆は互いに同じか異なる芳香環又は複素環を表し、それらの芳香環及び複素環は置換基を1又は複数有していてもよい。Mは周期律表における第3族乃至第12族の金属元素を表す。A及びA'は、周期律表における第16族の元素から選ばれる互いに同じか異なるヘテロ原子を表し、それらのヘテロ原子はZ₃、Z₆へ結合した原子団を構成するものであってもよい。

【請求項2】 請求項1に記載のトリメチン系シアニン色素を含んでなる光記録媒体。